

## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 石垣食品株式会社  
コード番号 2901 URL <https://www.ishigakifoods.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 石垣 裕義

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小西 一幸

TEL 03-3263-4444

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,266	24.1	123		139		109	
2022年3月期第3四半期	1,826	14.2	74		83		102	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 123百万円 ( %) 2022年3月期第3四半期 99百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	7.68	
2022年3月期第3四半期	8.97	

(注) 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。2022年3月期第3四半期の、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	989	133	13.1	9.32
2022年3月期	1,012	252	25.0	17.70

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 129百万円 2022年3月期 252百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

今後の業績の見通しにつきましては「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	14,295,700 株	2022年3月期	14,295,700 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,780 株	2022年3月期	1,779 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	14,293,921 株	2022年3月期3Q	11,435,521 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、主にOEM供給する化粧品の伸長により売上高2,266,448千円（前年同四半期比24.1%増）、損益面では主に自社ブランド化粧品の先行投資負担が重く営業損失123,910千円（前年同四半期は営業損失74,310千円）、経常損失139,852千円（前年同四半期は経常損失83,879千円）、特別利益に固定資産売却益31,249千円が計上されたこと等から親会社株主に帰属する四半期純損失109,727千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失102,571千円）となり、既存事業の事業構造の見直しや、新規事業への参入が数値となって表れる結果となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間、第2四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### ① 食品事業

食品事業においては、飲料全商品の大幅な減収傾向に歯止めがかからなかったことに加え、ビーフジャーキーも自社ブランド商品と同様の傾向が続いたこと、OEM供給商品は値上げによる商品切替で一時的に受注が停止されたこと等から、食品事業合計では売上高200,745千円（前年同四半期比24.3%減）となりました。

損益面では、減収にも関わらず、OEM商品を中心とした商品の値上げ効果、飲料商品のファブレス化及びビーフジャーキーの中国生産子会社の体制変更等に伴う損益改善が見られ、営業損失は21,835千円（前年同四半期は営業損失13,911千円）と第2四半期連結累計期間の24,414千円から縮小いたしました。

#### ② インターネット通信販売事業

インターネット通信販売事業は、システムの改善に伴う売れ筋商品の取扱強化などが寄与して、売上高1,584,947千円（前年同四半期比2.5%増）となりました。損益面では、外部委託業務の内製化比率を高水準で維持するなど利益構造の見直しの効果で、営業利益17,867千円（前年同四半期比44.3%増）となりました。

#### ③ 化粧品事業

化粧品事業は、OEM供給商品で多額の売上高を計上し、利益も堅調に計上する一方で、自社ブランド商品の売上計上は苦戦し、また先行する費用負担が重く、売上高377,798千円、営業損失66,334千円となりました。

#### ④ 雑貨事業

雑貨事業は、当第3四半期連結会計期間に研究用新型コロナウイルス抗原検査キットの売上がなかったことから売上高102,957千円、営業利益11,754千円と、第2四半期連結累計期間から増減がありませんでした。

#### ⑤ その他事業

だしのもとやOEM供給するサプリメント商品の売上が計上されない一方で、参入準備を始めた自社ブランドのサプリメント商品の準備費用が発生し、売上高はなく（前年同四半期は売上高14,294千円）、営業損失59千円（前年同四半期は営業損失111千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、総資産は989,151千円（前連結会計年度末は1,012,897千円）、負債は855,982千円（前連結会計年度末は759,949千円）、純資産は133,169千円（前連結会計年度末は252,948千円）となり、自己資本比率は13.1%（前連結会計年度末は25.0%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの今後の業績の見通しにつきましては、「未定」とさせていただきます。

その理由は、主に新型コロナウイルス感染症の影響や、米中貿易摩擦やウクライナ事変を受けた資材価格の高騰や為替相場の大幅変動、さらにこれらがサプライチェーンに与える影響が不透明であること等により、既存事業の先行きを見通すことが困難であること。当社グループとして新規事業の展開やM&A等を積極的に行っていく方針であるものの、それらが前述の状況を踏まえた上で業績に与える影響を見通すことも困難と考えます。これらの理由により、現時点では今後の業績の見通しを適正かつ合理的に算定することが困難なことから、今後の業績の見通しにつきましては「未定」とさせていただきます。

今後、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	522,682	252,054
受取手形及び売掛金	175,628	236,044
商品及び製品	154,644	360,130
原材料及び貯蔵品	11,339	28,630
前渡金	107,401	10,106
その他	12,624	69,126
貸倒引当金	△55	△62
流動資産合計	984,265	956,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	0	483
機械装置及び運搬具（純額）	0	7
土地	0	0
その他（純額）	460	543
有形固定資産合計	461	1,034
無形固定資産		
その他	3,611	2,858
無形固定資産合計	3,611	2,858
投資その他の資産		
投資有価証券	8,004	8,236
その他	16,554	20,992
投資その他の資産合計	24,558	29,228
固定資産合計	28,631	33,120
資産合計	1,012,897	989,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,691	170,628
未払金	11,628	13,370
短期借入金	19,100	19,100
1年内返済予定の長期借入金	192,035	163,974
リース債務	1,590	1,633
未払法人税等	6,914	4,497
賞与引当金	2,670	362
その他	23,063	59,308
流動負債合計	449,694	432,875
固定負債		
長期借入金	307,903	421,986
リース債務	2,351	1,121
固定負債合計	310,254	423,107
負債合計	759,949	855,982
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	989,102	989,102
資本剰余金	742,395	742,395
利益剰余金	△1,483,648	△1,593,376
自己株式	△782	△782
株主資本合計	247,066	137,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	232
為替換算調整勘定	5,881	△7,751
その他の包括利益累計額合計	5,881	△7,519
新株予約権	-	3,349
純資産合計	252,948	133,169
負債純資産合計	1,012,897	989,151

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	1,826,417	2,266,448
売上原価	1,232,662	1,638,106
売上総利益	593,755	628,341
販売費及び一般管理費	668,065	752,252
営業損失(△)	△74,310	△123,910
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	3,047	-
為替差益	23	31
雑収入	609	1,353
営業外収益合計	3,691	1,401
営業外費用		
支払利息	6,348	6,268
株式交付費	-	1,947
雑損失	6,912	9,128
営業外費用合計	13,260	17,343
経常損失(△)	△83,879	△139,852
特別利益		
固定資産売却益	-	31,249
特別利益合計	-	31,249
特別損失		
投資有価証券売却損	6,760	-
投資有価証券評価損	9,628	-
特別損失合計	16,388	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△100,267	△108,603
法人税、住民税及び事業税	2,303	1,124
法人税等合計	2,303	1,124
四半期純損失(△)	△102,571	△109,727
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△102,571	△109,727

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△102,571	△109,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,762	232
為替換算調整勘定	△7,629	△13,632
その他の包括利益合計	3,132	△13,400
四半期包括利益	△99,439	△123,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99,439	△123,128
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度まで9期連続して親会社株主に帰属する当期純損失を計上していること、及び当第3四半期においても状況が改善されていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく対処を行っております。

食品事業に含まれる飲料及び珍味においては、ブランド露出拡大、新商品の投入や既存商品の刷新、新規取扱先の開拓を継続して行うほか、他社との協業によるダイバーシティーの促進等による営業活動の改善等により事業採算の改善を図ってまいります。

食品事業に含まれる珍味においては、中国国内市場向けのビーフジャーキーが2021年4月から販売開始したことや、第三者割当増資の引受先や中国国籍を持つ取締役とのコネクションを活かした事業活動を行ってまいります。

加えて2022年2月に実施した第三者割当増資で調達した資金を活かして、化粧品やサプリメントといった新規事業を開始しており、今後も更なる事業展開やM&A等に取り組んでまいります。

しかし、これらの施策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められません。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

#### I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

##### 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

##### 2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

#### II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

##### 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

##### 2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで9期連続して親会社株主に帰属する当期純損失を計上していること、及び当第3四半期においても状況が改善されていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく対処を行っております。

食品事業に含まれる飲料及び珍味においては、ブランド露出拡大、新商品の投入や既存商品の刷新、新規取扱先の開拓を継続して行うほか、他社との協業によるダイバーシティーの促進等による営業活動の改善等により事業採算の改善を図ってまいります。

食品事業に含まれる珍味においては、中国国内市場向けのビーフジャーキーが2021年4月から販売開始したことや、第三者割当増資の引受先や中国国籍を持つ取締役とのコネクションを活かした事業活動を行ってまいります。

加えて2022年2月に実施した第三者割当増資で調達した資金を活かして、化粧品やサプリメントといった新規事業を開始しており、今後も更なる事業展開やM&A等に取り組んでまいります。